2026年12月期　第３四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年11月４日

上場会社名　　ダイトロン株式会社　　上場取引所　東
コード番号　　7609　　ＵＲＬ　https://www.daitron.co.jp/
代表者　　（役職名）代表取締役社長　　（氏名）土屋　伸介
問合せ先責任者　（役職名）代表取締役専務　専務執行役員　管理本部長（氏名）毛利　肇　　ＴＥＬ　(06)6399-5041

配当支払開始予定日　　ー
決算補足説明資料作成の有無：　有
決算説明会開催の有無　　：　無

（百万円未満切捨て）

１．2026年12月期第３四半期の連結業績（2026年１月１日～2026年９月30日）

（１）連結経営成績（累計）　　（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年12月期第３四半期	90,388	24.2	7,713	52.7	7,854	55.1	5,577	60.1
2025年12月期第３四半期	72,802	9.3	5,050	31.2	5,064	32.3	3,484	35.3

（注）包括利益　2026年12月期第３四半期6,406百万円（75.9%）　2025年12月期第３四半期3,641百万円（34.7%）

	１株当たり四半期純利益	潜在株式調整後１株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年12月期第３四半期	265.96	ー
2025年12月期第３四半期	164.07	ー

（注）１．潜在株式調整後１株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
２．当社は、2026年１月１日付で普通株式１株につき２株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「１株当たり四半期純利益」を算定しております。

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	１株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年12月期第３四半期	86,088	37,122	43.1	1,806.88
2025年12月期	79,295	35,586	44.8	1,687.18

（参考）自己資本　　2026年12月期第３四半期　　37,061百万円　　2025年12月期　　35,540百万円

（注）当社は、2026年１月１日付で普通株式１株につき２株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「１株当たり純資産」を算定しております。

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年12月期	ー	70.00	ー	120.00	190.00
2026年12月期	ー	55.00	ー		
2026年12月期（予想）				77.00	132.00

（注）１．直近に公表されている配当予想からの修正の有無：　有
２．当社は、2026年１月１日付で普通株式１株につき２株の割合で株式分割を行っております。2025年12月期については、当該株式分割前の実際の配当金の額を記載しております。2026年12月期（予想）については、当該株式分割後の数値を記載しております。なお、株式分割を考慮しない場合の2026年12月期（予想）の年間配当は264円となります。

３．2026年12月期の連結業績予想（2026年１月１日～2026年12月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	124,000	20.2	9,400	34.1	9,550	33.4	6,850	39.1	328.47

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 有

※ 注記事項

（１）当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更： 無

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 ： 無

② ①以外の会計方針の変更 ： 無

③ 会計上の見積りの変更 ： 無

④ 修正再表示 ： 無

（４）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年12月期３Ｑ	20,695,698株	2025年12月期	21,266,698株
② 期末自己株式数	2026年12月期３Ｑ	184,383株	2025年12月期	201,432株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2026年12月期３Ｑ	20,969,652株	2025年12月期３Ｑ	21,236,001株

（注）当社は、2026年１月１日付で普通株式１株につき２株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「期末発行済株式数」、「期末自己株式数」及び「期中平均株式数」を算定しております。

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料Ｐ．３「１．経営成績等の概況（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（決算補足説明資料の入手方法）

決算補足説明資料に関しては、決算発表後速やかに当社ウェブサイトに掲載いたします。

（金額の表示単位の変更について）

当社の四半期連結財務諸表に表示される科目その他の事項の金額は、従来、千円単位で記載しておりましたが、第１四半期連結会計期間及び第１四半期連結累計期間より百万円単位で記載することに変更いたしました。なお、比較を容易にするため、前連結会計年度及び前第３四半期連結累計期間についても百万円単位に変更して記載しております。

○添付資料の目次

１．経営成績等の概況 …… 2
（１）当四半期の経営成績の概況 …… 2
（２）当四半期の財政状態の概況 …… 3
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 3
２．四半期連結財務諸表及び主な注記 …… 4
（１）四半期連結貸借対照表 …… 4
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 5
（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項 …… 7
（セグメント情報等の注記） …… 7
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 8
（継続企業の前提に関する注記） …… 8
（四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記） …… 8

１．経営成績等の概況

（１）当四半期の経営成績の概況

当第３四半期連結累計期間におけるわが国経済は、物価上昇や中東情勢の影響を受けながらも雇用や所得環境の改善等により緩やかに回復しました。また、企業の設備投資は人手不足を背景として堅調に推移し、生産活動は資源や原材料価格の高止まりの影響を受けながらも底堅く推移しました。

世界経済につきましては、米国では高金利による住宅市場の低迷や金融政策を巡る不透明感が続いたものの、個人消費は底堅く推移し、景気は緩やかな拡大となりました。中国では、不動産市場の低迷や内需の不振を背景に、個人消費及び投資は低調に推移しました。加えて、米国の政策動向やウクライナ・中東情勢などの地政学リスクも継続しており、依然として先行き不透明な状況が続きました。

当社グループの属しておりますエレクトロニクス業界につきましては、生成AIの普及拡大やデータセンター投資の増加を背景として、先端半導体や高性能メモリ向けの設備投資が堅調に推移し、関連する電子部品や製造設備に対する需要も底堅く推移しました。

このような状況下、当社グループは、「第11次中期経営計画（2024年～2026年）」の基本方針に基づき、オリジナル製品の拡販や海外事業の拡大、新たな収益基盤となる新規ビジネスの創出に取組みました。

この結果、当社グループの当第３四半期連結累計期間の売上高は90,388百万円（前年同期比24.2%増）、営業利益は7,713百万円（前年同期比52.7%増）、経常利益は7,854百万円（前年同期比55.1%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は5,577百万円（前年同期比60.1%増）となりました。

セグメントごとの概況は以下のとおりであります。

当社グループは、「第11次中期経営計画」の事業戦略である「オリジナル製品開発の強化」「海外ビジネス展開の強化」に沿った計数管理及び情報開示を行うため、第１四半期連結会計期間より、「国内販売事業」「海外事業」に含まれる「製造装置」の商品セグメントの名称及び区分を変更しております。

国内販売事業

当セグメントにつきましては、電子機器及び部品では、「電子部品＆アセンブリ商品」のコネクタやハーネス、車載向け「画像関連機器・部品」のカメラ及びレンズ、「グリーン・ファシリティー」のデータセンター向けUPSシステムの販売が増加しました。製造装置では、データセンター用通信デバイスの生産向け「オプトデバイス・基板材料設備」の販売が増加しました。これらの要因により、売上、利益共に前年同期の実績を上回りました。

この結果、当セグメントの売上高は66,017百万円（前年同期比30.8%増）となり、セグメント利益（営業利益）は5,080百万円（前年同期比77.3%増）となりました。

国内製造事業

当セグメントにつきましては、電子機器及び部品を手掛ける部品事業部門では、特殊コネクタの販売が増加しました。製造装置を手掛ける装置事業部門では、通信用デバイス向け加工機の販売が増加しました。これらの要因により、売上、利益共に前年同期の実績を上回りました。

この結果、セグメント間の内部売上高を含めた当セグメントの総売上高は11,361百万円（前年同期比28.5%増）となりました。外部顧客への売上高は4,288百万円（前年同期比34.6%増）となり、セグメント利益（営業利益）は1,385百万円（前年同期比85.4%増）となりました。

海外事業

当セグメントにつきましては、米国市場では、電子機器及び部品で「電子部品＆アセンブリ商品」の販売が減少しましたが、製造装置で「電子部品・半導体・基板材料設備」の販売が増加しました。中国市場では、電子機器及び部品で「電子部品＆アセンブリ商品」及び「画像関連機器・部品」、製造装置で「オプトデバイス・基板材料設備」の販売が増加しました。これらの要因により、売上は前年同期の実績を上回りましたが、利益は前年同期の実績を下回りました。

この結果、当セグメントの売上高は20,082百万円（前年同期比4.9%増）となり、セグメント利益（営業利益）は1,389百万円（前年同期比9.4%減）となりました。

（２）当四半期の財政状態の概況

（資産）

当第３四半期連結会計期間末における流動資産は76,412百万円となり、前連結会計年度末に比べ5,535百万円の増加となりました。これは主に現金及び預金が3,391百万円減少したものの、受取手形、売掛金及び契約資産が2,112百万円、電子記録債権が1,715百万円、仕掛品が1,580百万円、前渡金が3,713百万円増加したことによるものであります。固定資産は9,676百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,258百万円の増加となりました。これは主に投資その他の資産が1,076百万円増加したことによるものであります。

この結果、総資産は86,088百万円となり、前連結会計年度末に比べ6,793百万円の増加となりました。

（負債）

当第３四半期連結会計期間末における流動負債は45,592百万円となり、前連結会計年度末に比べ5,280百万円の増加となりました。これは主に電子記録債務が3,428百万円減少したものの、支払手形及び買掛金が1,585百万円、賞与引当金が1,008百万円、契約負債が5,712百万円増加したことによるものであります。固定負債は3,373百万円となり、前連結会計年度末に比べ23百万円の減少となりました。

この結果、負債合計は48,966百万円となり、前連結会計年度末に比べ5,256百万円の増加となりました。

（純資産）

当第３四半期連結会計期間末における純資産合計は37,122百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,536百万円の増加となりました。これは主に剰余金の配当により2,423百万円、自己株式の取得により2,499百万円減少したものの、親会社株主に帰属する四半期純利益により5,577百万円増加したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は43.1％となり、前連結会計年度末との比較で1.8ポイントの低下となりました。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2026年８月３日に公表いたしました「2026年12月期　第２四半期（中間期）決算短信」に記載の内容から大きく変更はありませんが、当第３四半期連結累計期間の業績を踏まえ、売上高、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益を修正いたしました。

なお、業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。今後、業績予想に関して修正の可能性が生じた場合には、速やかに開示する予定であります。

２．四半期連結財務諸表及び主な注記

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2025年12月31日)	当第３四半期連結会計期間 (2026年９月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	21,803	18,412
受取手形、売掛金及び契約資産	19,342	21,455
電子記録債権	10,122	11,837
商品及び製品	8,369	8,716
仕掛品	4,340	5,921
原材料	1,109	878
前渡金	5,277	8,991
その他	513	199
貸倒引当金	△1	△0
流動資産合計	70,877	76,412
固定資産		
有形固定資産	4,355	4,375
無形固定資産	409	571
投資その他の資産		
その他	3,661	4,739
貸倒引当金	△8	△10
投資その他の資産合計	3,652	4,729
固定資産合計	8,418	9,676
資産合計	79,295	86,088
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	11,602	13,188
電子記録債務	11,403	7,974
短期借入金	258	343
未払法人税等	1,157	1,746
賞与引当金	188	1,196
その他の引当金	63	108
契約負債	13,674	19,387
その他	1,963	1,645
流動負債合計	40,312	45,592
固定負債		
退職給付に係る負債	3,199	3,224
資産除去債務	53	54
その他	143	95
固定負債合計	3,397	3,373
負債合計	43,709	48,966
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,200	2,200
資本剰余金	2,487	2,482
利益剰余金	27,946	29,070
自己株式	△258	△667
株主資本合計	32,375	33,086
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,594	2,373
繰延ヘッジ損益	－	△11
為替換算調整勘定	1,042	1,103
退職給付に係る調整累計額	527	509
その他の包括利益累計額合計	3,165	3,975
非支配株主持分	45	61
純資産合計	35,586	37,122
負債純資産合計	79,295	86,088

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

（四半期連結損益計算書）

（単位：百万円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　2025年１月１日 至　2025年９月30日）	当第３四半期連結累計期間 （自　2026年１月１日 至　2026年９月30日）
売上高	72,802	90,388
売上原価	57,904	71,056
売上総利益	14,898	19,332
販売費及び一般管理費	9,847	11,619
営業利益	5,050	7,713
営業外収益		
受取利息	3	27
受取配当金	34	42
補助金収入	43	17
スクラップ売却益	3	8
為替差益	－	27
雑収入	25	43
営業外収益合計	110	167
営業外費用		
支払利息	19	15
為替差損	66	－
雑損失	10	10
営業外費用合計	96	25
経常利益	5,064	7,854
特別利益		
固定資産売却益	1	2
投資有価証券売却益	－	231
特別利益合計	1	233
特別損失		
固定資産除売却損	0	2
特別損失合計	0	2
税金等調整前四半期純利益	5,066	8,085
法人税、住民税及び事業税	1,807	2,826
法人税等調整額	△232	△336
法人税等合計	1,574	2,489
四半期純利益	3,491	5,596
非支配株主に帰属する四半期純利益	7	19
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,484	5,577

（四半期連結包括利益計算書）

（単位：百万円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　2025年１月１日 至　2025年９月30日）	当第３四半期連結累計期間 （自　2026年１月１日 至　2026年９月30日）
四半期純利益	3,491	5,596
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	324	778
繰延ヘッジ損益	7	△11
為替換算調整勘定	△186	60
退職給付に係る調整額	5	△17
その他の包括利益合計	149	810
四半期包括利益	3,641	6,406
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,634	6,390
非支配株主に係る四半期包括利益	7	16

（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（セグメント情報等の注記）

セグメント情報

Ⅰ　前第３四半期連結累計期間（自　2025年１月１日　至　2025年９月30日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

（単位：百万円）

	報告セグメント				調整額（注）１	四半期連結損益計算書計上額（注）２
	国内販売事業	国内製造事業	海外事業	計		
売上高						
電子機器及び部品	41,915	3,161	9,246	54,323	－	54,323
製造装置	8,562	25	9,890	18,478	－	18,478
顧客との契約から生じる収益	50,478	3,186	19,136	72,802	－	72,802
その他の収益	－	－	－	－	－	－
外部顧客への売上高	50,478	3,186	19,136	72,802	－	72,802
セグメント間の内部売上高又は振替高	2,358	5,652	145	8,156	△8,156	－
計	52,836	8,839	19,282	80,958	△8,156	72,802
セグメント利益	2,866	747	1,533	5,147	△96	5,050

（注）１．セグメント利益の調整額△96百万円には、セグメント間取引消去19百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△116百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

２．セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ　当第３四半期連結累計期間（自　2026年１月１日　至　2026年９月30日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

（単位：百万円）

	報告セグメント				調整額（注）１	四半期連結損益計算書計上額（注）２
	国内販売事業	国内製造事業	海外事業	計		
売上高						
電子機器及び部品	56,597	4,185	11,962	72,744	－	72,744
製造装置	9,419	103	8,120	17,644	－	17,644
顧客との契約から生じる収益	66,017	4,288	20,082	90,388	－	90,388
その他の収益	－	－	－	－	－	－
外部顧客への売上高	66,017	4,288	20,082	90,388	－	90,388
セグメント間の内部売上高又は振替高	3,145	7,072	257	10,476	△10,476	－
計	69,162	11,361	20,340	100,864	△10,476	90,388
セグメント利益	5,080	1,385	1,389	7,855	△142	7,713

（注）１．セグメント利益の調整額△142百万円には、セグメント間取引消去△１百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△140百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

２．セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

当社は、2026年８月３日開催の取締役会決議に基づき、自己株式571,000株の取得を行いました。この結果、当第３四半期連結累計期間において自己株式が2,499百万円増加しております。なお、2026年８月20日の自己株式の取得をもって、上記取締役会の決議に基づく自己株式の取得は終了いたしました。

また、同日開催の取締役会決議に基づき、2026年９月30日付で自己株式571,000株の消却を行いました。この結果、当第３四半期連結累計期間において資本剰余金が37百万円、利益剰余金が2,029百万円、自己株式が2,066百万円減少しております。

これらの結果、当第３四半期連結会計期間末において資本剰余金が2,482百万円、利益剰余金が29,070百万円、自己株式が667百万円となっております。

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記）

当第３四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第３四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第３四半期連結累計期間（自　2025年１月１日　至　2025年９月30日）	当第３四半期連結累計期間（自　2026年１月１日　至　2026年９月30日）
減価償却費	344百万円	378百万円